

一般社団法人インクルージョンネットかながわ



2015年度 事業報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

2015年度事業の概要

2015年度は生活困窮者自立支援制度が全国で施行され、鎌倉市の生活困窮者自立相談支援事業、藤沢市の生活困窮者・被保護就労準備支援事業（社会福祉法人いきいき福祉会との共同事業）を運営することとなった。そのため、事務所を鎌倉市大船に移転、名称も「一般社団法人インクルージョンネットかながわ」に変更し、新たなスタートを切った。

鎌倉市の生活困窮者自立支援事業「インクル相談室鎌倉」では1年間で195名の相談を受け付け、その7割が他機関・関係者からの紹介であった。これは、地域に存在が周知されるようになった結果であろう。しかし、支援につながってきた利用者を支えるためにはいくつかの課題があった。

一つは、鎌倉市では生活困窮者自立支援制度の任意事業等（家計相談支援事業、就労準備支援事業、一時生活支援事業、子どもの学習支援事業）の実施がなく、支援手段の手立てに乏しかったことである。そのため、家計相談支援事業については自立相談支援事業の中で同様の相談を実施をした。また、就労準備支援事業に該当する事業を「生活困窮者の就労体験・就労及び居場所作りへの支援事業」、学習支援事業を「子どもの学習支援事業『Space ぷらっと』」として、それぞれ助成金を獲得しながら、地域の協力を得て自主事業として実施をした。また、住まいについても大きな課題があり、神奈川居住支援協議会からの委託を受け「要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居に資するモデル事業」に取り組んだ。このように、自立相談支援の中で見えてきたさまざまな課題を、自主事業として展開する1年となった。その中で、学習支援事業は2016年度中旬から、鎌倉市においても行政の事業として実施されることが決まり、政策提言の成果が実ったと言える。

もう一つの課題は、生活困窮者自立支援制度による実施事業の範囲に留まらず、一人ひとりの多様な困難を支えるための地域の体制が不十分なことである。2015年度は支援を必要とする人をキャッチできる地域のネットワークづくりが進んだ一方で、課題を解決しながら暮らしを支えていくための、地域全体での取り組みにまでは踏み込めなかった。今後、地域を歩き、生活困窮者を支える地域づくりに取り組む必要がある。

いきいき福祉会との共同事業として実施した藤沢市の就労準備支援事業では、生活困

窮者と生活保護受給者の段階的な就労を支える支援を行った。就労体験を中心とする就労支援事業として、25名の支援を行い、それぞれの就労を支えることができた。一方、相談を受ける中でさまざまな生活課題等も出ており、就労に留まらない地域の課題が見えてきた。これについては、今後、地域にフィードバックし地域づくりにつなげていく必要があり、対応に課題が残った。また、共同事業体での事業実施に関して、双方の強みを生かした事業運営により相乗効果を得られた一方、役割分担やマネジメントにも課題を残した。今後、事業を自ら評価し、改善していく取り組みが求められると同時に、両法人が協力し合いながら双方の人材を育成し、長期的な視点で一層発展できるよう取り組む必要がある。

委託事業を通して見えてきた課題を法人の自主事業として展開することで、さまざまに対応してきたのと同時に、地域づくりに関するいくつかの課題が明らかになった。また、民間団体が協働・連携しながら生活困窮者自立支援制度に関わる、神奈川県内でも貴重な取り組みとして、今後一層発展し、モデルとなれるよう、より充実した体制を目指していく必要性が見えてきた。

● 2015 年度事業一覧

1 様々な困難を抱える人たちへの相談・支援事業	
(1) 神奈川県生活困窮者自立相談支援モデル事業利用者へのアフターフォロー事業	自主事業
(2) 鎌倉市生活困窮者自立相談支援事業	受託事業
(3) 藤沢市生活困窮者・被保護者就労準備支援事業	受託事業
(4) 要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居に資するモデル事業	受託事業
(5) 全体会議の開催	自主事業
(6) インクル基金の運用	自主事業
(7) インクル子ども若者基金の運用	自主事業
2 様々な困難を抱える人たちが安心できる居場所や活躍できる場の開拓事業	
(1) 生活困窮者の就労体験・就労及び居場所作りへの支援事業	自主事業
(2) 子どもの学習支援事業	自主事業
3 様々な困難を抱える人たちへの包括的・継続的支援に関わる政策提言事業	
(1) 中間的就労に携わる支援者の効果的な支援技術に関する調査研究	自主事業
(2) 国や県内自治体に対する生活困窮者支援への提案活動	自主事業
(3) インターネット等を活用した情報発信	自主事業
(4) その他（講師、委員会委員等の派遣）	自主事業
4 前各号に関わる人材育成事業	
(1) 研修会の実施	自主事業
(2) 各種研修・講演会への講師の派遣	自主事業
5 職業紹介事業	
(1) インクル無料職業紹介所	自主事業
6 前各号に附帯する一切の事業	
(1) 社員総会の開催	自主事業
(2) 理事会の開催	自主事業
(3) 運営会議の開催	自主事業

1 様々な困難を抱える人たちへの相談・支援事業

(1)神奈川県生活困窮者自立相談支援モデル事業利用者へのアフターフォロー事業（自主事業）

2014 年度末で終了した神奈川県生活困窮者自立相談支援モデル事業の利用者や、相談窓口が分からなくなっている県内の生活困窮者に対し、アフターフォローとして支援を行った。また、各自治体からの問い合わせへの対応や、会議への出席等、各自治体の新制度立ち上げをサポートした。また、大和市においては、定例的に困窮者支援の連絡会議に出席した。

◆大和市生活困窮者連絡会

2015 年 4 月 23 日（木）14：00～17：00

2015 年 8 月 5 日（水）14：00～17：00

2015 年 11 月 5 日（木）14：00～17：00

2016 年 2 月 10 日（水）14：00～17：00

(2)鎌倉市生活困窮者自立相談支援事業（鎌倉市委託事業）

1. 事業概要

1)趣旨

経済的な問題のみならず、精神的、家庭や、健康等複合的な問題を抱え、生活上の困難に直面している生活困窮者に対し、生活困窮状態から脱却して、その地域において自立した生活が行えるよう、個別的・包括的・継続的な相談を行うための自立相談支援事業を実施した。

2)支援対象

鎌倉市在住の、生活に困窮している、あるいは将来の生活に不安を抱える人で、生活保護を受給していない人。

3)委託金額

8,729,424円

4)実施体制

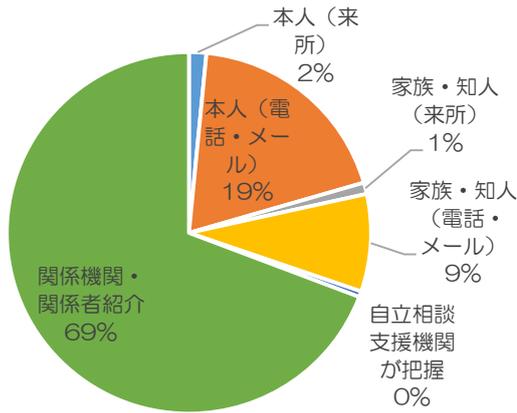
鎌倉市大船に「インクル相談室鎌倉」を開設し、そこを拠点に、訪問、同行なども含めた相談支援事業を行った。人員体制は以下のとおりである。

- ・ 主任相談員兼就労支援員 2名（いずれも非常勤）

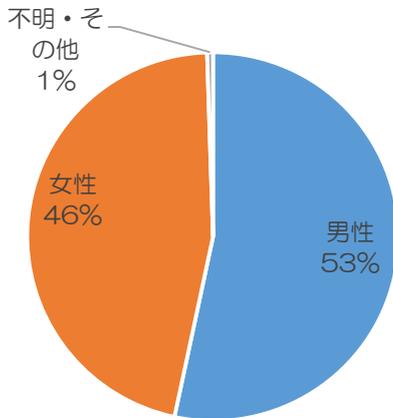
- ・ 相談支援員 1名（常勤）
- ・ アドバイザー 4名（いずれも非常勤）

5) 支援実績

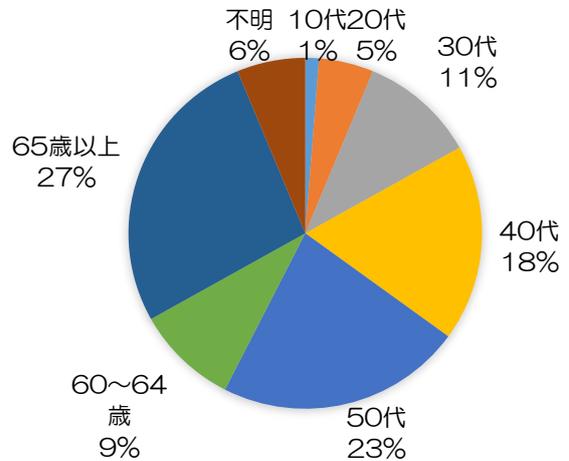
- ・ 年間受付件数 195件
- ・ 来所経路



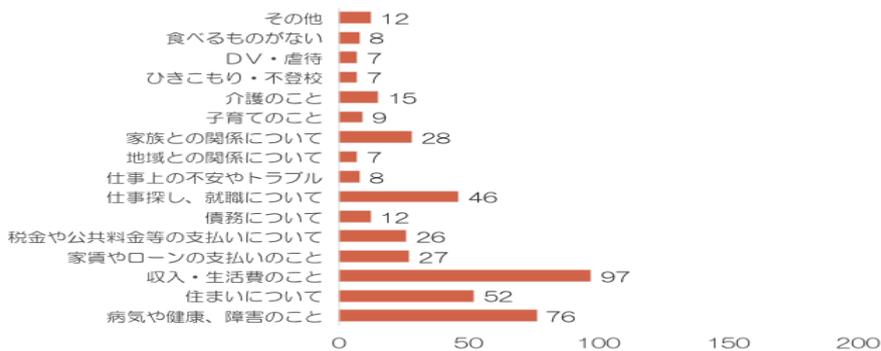
・ 性別



・ 年代



・ 利用者の抱える課題（単位:件）



(3) 藤沢市生活困窮者・被保護者就労準備支援事業（藤沢市委託事業）

1. 事業概要

1) 趣旨

生活困窮状態にあり、就労を希望しているものの、「社会との関わりに不安がある」「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な人に対して、就労体験や社会参加等就労に向けてさまざまな支援を行う。

2) 支援対象

藤沢市在住の、生活に困窮している、あるいは将来の生活に不安を抱える人で、自立相談支援機関が就労準備支援を必要と判断した人。もしくは現在生活保護を受給している人で、福祉事務所が必要と判断した人。

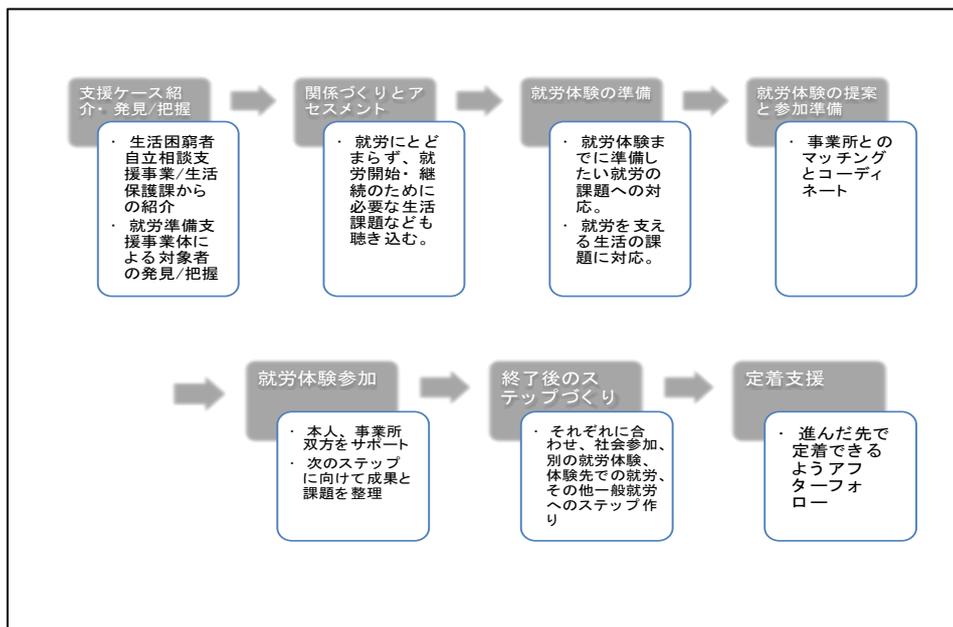
3) 委託金額（いきいき福祉会からの分担金）

9,573,377円

4) 実施体制

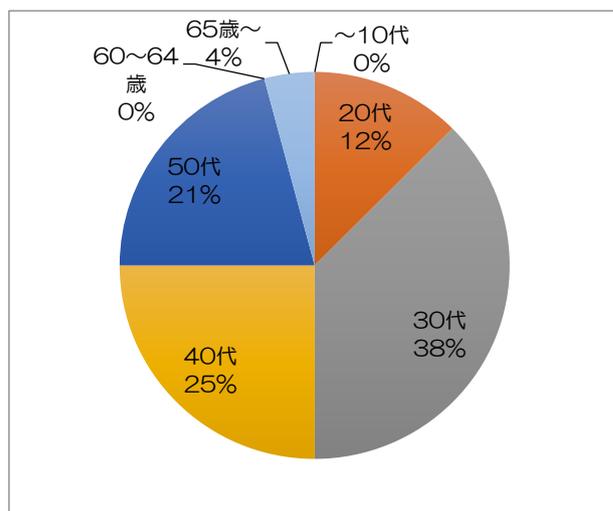
社会福祉法人いきいき福祉会との共同事業体として、事業を実施した。相談は主にいきいき福祉会ラポール城南、ないし市役所にて行い、訪問、就労体験・就労受け入れ先等への同行を行った。当法人の人員体制は以下のとおりである。

- ・相談員 5名（常勤1名、非常勤4名）



5) 支援実績

- ・ 支援件数 25 件（新規 21 名、2014 年度からの継続 4 名）
- ・ 生活困窮者 12 名、生活保護受給者 13 名
- ・ 性別 男性 17 名、女性 8 名
- ・ 年代別



- ・ 利用者の就労経験

就労経験なし 6 名、就労経験あり 19 名（うち 3 年以上の長期離職者 9 名）

- ・ 就労体験参加者 9 名（就労体験先：9 団体 11 事業所）
- ・ 社会参加につながった人 2 名
- ・ その他

利用者の状況に合わせた就労体験先開拓・職場開拓を行った。面接を通して見えてきた生活課題に対し、自立相談支援機関及び福祉事務所と相談をしながら、随時対応していった。特に、生活保護受給者に関しては、ケースワーカーが多忙であること等から、多くの生活課題に対し、本事業で対応せざるを得なかった。

(4) 要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居に資するモデル事業

(神奈川県居住支援協議会委託事業)

1. 事業概要

1) 趣旨

さまざまな困窮、困難、ハンディを抱える神奈川県民の、入居と住まいに関する相談を受けることにより、すべての人たちが安心、快適に生活する環境を担保することを目的

とする。文化的、民族的、地域的に多様性のある地域づくりを促し、住民の誰もが違いを認め、互いに尊重し、共に生きることのできる地域づくりを進める。

2)委託金額

580,000円

3)実績

- ・ 受付件数 54 件（対応回数 156 回）
- ・ 相談内容
 - ・ 高齢者の相談（当人の退去・転居・保証人、高齢の親と同居する息子・娘についての相談）
 - ・ 障害のある、障害が疑われる人の相談
 - ・ 住居喪失状態にある、もしくはそのリスクの高い人の相談
 - ・ 生活保護世帯、住宅扶助基準超過による転居
 - ・ 生活保護申請時の入居に関する相談
 - ・ 家賃滞納
 - ・ 家族関係の悪化、DV被害などによる転居
 - ・ 税滞納による持ち家の差し押さえ
 - ・ 公営住宅に関する相談

(5)全体会議の開催

インクルージョンネットかながわの相談員全員で、当法人の事業や支援ケースの共有化を行い、困難なケースの支援方法の検討等を行うために、月1回第2土曜日に全体会議を開催した。

◆全体会議開催経過

2015年4月11日（土）	10:00～12:00	当法人事務所
2015年5月9日（土）	10:00～12:00	当法人事務所
2015年6月6日（土）	13:00～14:00	かながわ県民センター
2015年7月11日（土）	10:00～12:00	当法人事務所
2015年8月8日（土）	10:00～12:00	当法人事務所

2015年9月12日(土) 10:00~12:00 当法人事務所
2015年10月10日(土) 10:00~11:30 当法人事務所
2015年11月14日(土) 10:00~12:15 当法人事務所
2015年12月12日(土) 10:00~12:00 当法人事務所
2016年1月9日(土) 10:00~12:00 当法人事務所
2016年2月13日(土) 10:00~12:00 当法人事務所
2016年3月12日(土) 10:00~12:00 当法人事務所

(6)インクル基金の運用

経済的に困窮している人びとに対して、当面の食費や宿泊費等を貸し付けたり、相談対応に必要な経費（喫茶店代等）を負担したりするために、賛同者からの寄付を募り、基金を設置、運用した。

◆2014年度末残高 89,797円…①

◆2015年度収入 70,123円…②

収入内訳…2015年度寄付 70,108円、普通預金利息 15円

◆2015年度貸付状況

2015年度貸付：3件、14,500円

2015年度貸付返済：1件、3,000円

(2015年度未返済額=11,500円)

◆2015年度末残高

①+②=159,920円

(7)インクル子ども若者基金の運用

子ども若者の支援に関わる事業資金とするため、新たに基金を創設した。

◆2015年度収入 51,775円

収入内訳 寄付6件、51,775円

2 様々な困難を抱える人たちが安心できる居場所や活躍できる場の開拓事業

(1)生活困窮者の就労体験・就労及び居場所作りへの支援事業

1. 事業概要

1)趣旨

生活困窮者が、地域で孤立せず安定した暮らしを営むために、就労先や安心できる居場所の確保等が必要である。そのため、職場見学・就労体験への参加や社会参加の支援を支える。

2)事業費

1,330,695 円（うち 1,000,000 円は公益社団法人日本フィランソロピー協会補助金を充当）

3)実施体制

- ・コーディネーター 当法人職員 1 名（非常勤）
- ・相談員 当法人職員 1 名（常勤、他事業と兼務）
- ・受け入れ事業所コーディネーター ワークスコレクティブより派遣

2. 事業実績

- ・職場見学・就労体験参加者 8 名（うち 2 名は常勤就職に至った）

(2)子どもの学習支援事業

1. 事業概要

1)趣旨

居場所となり、学びを支えると共に、子どもも家族も地域とつながるプラットフォームを形成する。生活困窮世帯に育つ子どもたちに対し、各地で生活困窮者自立支援制度の学習支援事業が始まっているものの、鎌倉・逗子ではいまだ実施がない。また、生活困窮世帯はさまざまな複合的な困難を抱えているため、子どもの学習支援にとどまらず、子どもの抱えるさまざまな課題に対応し、世帯全体に寄り添い、地域で暮らしを支えることが求められている。そこで、鎌倉・逗子地域において、学習支援にとどまらず、居場所となり、子どもも含めた世帯全体が地域で支えられる事業を行う。

2)事業費

2,319,120 円（うち 1,942,975 円は独立行政法人福祉医療機構補助金を充当）

3)実施体制

学習と食事をしながら居場所として機能する場「Space ぷらっと」を開設し、11

月より運営を始めた。逗子地域での実施は NPO 法人遊悠楽舎に委託をした。

《鎌倉地域での開催》

- ・実施日：月 2 回（第 1・第 3 火曜日 16：30～）
- ・実施体制：当法人職員 3 名、有給スタッフ 1 名、ボランティアスタッフ 6 名
- ・実施場所：インクルージョンネットかながわ事務所

《逗子地域での開催》

- ・実施日：10 月～12 月 月 2 回（第 2・第 4 火曜日 16：30～19：00）
1 月～3 月 毎週火曜日（15:30～18:00 低年齢の子どもたちも危険がないよう開催時間をと 1 時間繰り上げて実施）

2. 事業実績

1) 「space ぷらっと」の開催

《鎌倉地域での開催》

① 参加受付人数（見学者も含む）：9 名

ひとり親世帯 3 名、外国にルーツをもつ世帯 1 名、生活保護世帯 1 名など、世帯の状況に困難を抱える子どもが登録した。子どもの抱える困難としては、障害のある生徒 2 名、不登校 2 名、中卒無業者 1 名と、支援や配慮の必要性があった。

② 学習支援利用人数 のべ 25 名（うち「Space ぷらっと」実施日以外の個別対応 4 名）

面談や学習状況を見て、本人に合わせた個別指導を行った。

③ 食事会参加人数 のべ 21 名

教科学習を行っている間に、ボランティアスタッフが食事を作り、教科学習終了後に子どもや保護者と共に食事をした。最初は躊躇していた子どもや保護者には、食事を持って帰ってもらうなどの関わりを続け、徐々に参加を促していった。バランスのとれた手作りの食事を皆でとる経験や、その場で地域のさまざまな大人と関わる経験をする機会となった。

《逗子地域での開催》

① 参加受付人数（見学者も含む）6 名

② 学習支援利用人数 のべ 15 名

③ 食事会参加人数 のべ 16 名

2)あるべき学習支援に関する検討委員会の開催

学習支援のあり方を検討するため検討委員会を設け、委員会を 2 回実施した。

〔連携団体の役割〕NPO 法人遊悠楽舎、NPO 法人リロード、寿支援者交流会、NPO 法人パノラマから、それぞれ担当者が委員として参加し、議論を行った。

- ・第1回 2015年12月2日
- ・第2回 2016年3月16日

3)シンポジウム開催

地域の福祉関係者を中心に、鎌倉・逗子地域での子どもの貧困に関する啓発のためシンポジウムを行った。

[内容]

- ・子どもの貧困に関する基調講演
- ・「Space ぷらっと」実践報告
- ・地元大学の有識者をコーディネーターにした、地域の実践者によるパネルディスカッション

[参加者数] 189名（市内78名、市外111名）

支援に携わる支援職や行政職員をはじめ、子どもの貧困に関心のある市民、鎌倉市長、神奈川県議会議員、鎌倉市・逗子市その他周辺自治体の市議会議員などが数多く参加した。

4)ボランティアスタッフの養成

地域の子ども若者の貧困の状況を踏まえ、適切な運営・関わりができるよう、ボランティアスタッフの養成を行った。

- ・2015年10月6日 子ども貧困の現状について 参加者6名
- ・2015年11月11日 学習支援を訪れることが予想される子どもたちの特徴について
参加者3名

逗子地域では、スタッフが自ら考え、場を活性化していくために、ワークショップを実施した。

- ・2015年12月10日 参加者6名
- ・2016年1月21日 参加者7名

3 様々な困難を抱える人たちへの包括的・継続的支援に関わる政策 提言事業

(1)中間的就労に携わる支援者の効果的な支援技術に関する調査研究事業

1. 事業概要

1) 趣旨

中間的就労、具体的には生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業・就労訓練事業及びそれに類する地域の先行する取り組みを研究し、相談支援員、就労支援員、受け入れ事業所担当者の支援技術を明らかにし、支援現場に携わる者が参照し、活用できる支援マニュアルを作成する。

2) 事業費

1,921,418 円（厚生労働省社会福祉推進事業の国庫補助による）

3) 実績

「研究1：本法人の運営する就労準備支援事業及び社会参加・就労体験事業についての実践的フィールドワーク」「研究2：近隣地域での先行的取り組みに関するヒアリング調査」を行い、検討委員会を実施して成果をまとめた。なお、調査研究検討委員会委員は以下のとおりである。

委員長 新保美香 明治学院大学 教授

委員 藤森克彦 みずほ情報総研株式会社 主席研究員

石井正宏 NPO法人パノラマ 代表理事 / 株式会社シェアするココロ 代表

鈴木晶子 一般社団法人インクルージョンネットかながわ 代表理事

明石紀久男 一般社団法人インクルージョンネットかながわ 理事/ NPO法人遊
悠楽舎 代表

事務局 園田明日香 一般社団法人インクルージョンネットかながわ
藤沢市生活困窮者就労準備支援事業相談員

池田真理子 一般社団法人インクルージョンネットかながわ事務局
NPO法人ビッグイシュー基金 プログラムコーディネーター

小川竜弥 一般社団法人インクルージョンネットかながわ
鎌倉市生活困窮者自立相談支援事業相談員

塚原ゆき恵 一般社団法人インクルージョンネットかながわ 事務局

・24ページにまとめた冊子「生活困窮者支援での就労体験・就労訓練活用マニュアル～ささえる手の増やし方、はたらく気持ちの動かし方～」を作成し、700部を印刷、配布した。

・2016年3月25日 中間的就労に携わる支援者の効果的な支援技術に関する調査研究成果報告会開催

[内容]

- ・第1部 基調講演「生活困窮者支援制度における就労支援：就労準備支援事業と就労訓練事業」渡邊由美子（厚生労働省社会援護局生活困窮者自立支援室 課長補佐）
- ・第2部 ささえる手の増やし方、はたらく気持ちの動かし方
 - (1)支援者は何を大切にしていくか
 - 明石紀久男（一般社団法人インクルージョンネットかながわ 理事/NPO法人遊悠楽舎代表）
 - (2)具体的な支援の進め方
 - 鈴木晶子（一般社団法人インクルージョンネットかながわ 代表理事）
 - 園田明日香（藤沢市生活困窮者就労準備支援事業 相談員）

(2)国や自治体に対する生活困窮者支援への提案活動

生活困窮者自立支援制度がスタートしたが、いまだ各自治体では十分な体制が整っていない状況である。当法人が活動する鎌倉市では、子どもの学習支援事業は未実施である。また、神奈川県内全域を見ても、生活困窮者に必要な就労体験などを実施していく就労準備支援事業をはじめ、学習支援以外の任意事業は未実施の状況である。そこで、特に急務である子どもの貧困対策と就労準備支援事業の必要性について、啓発活動を行った。

◆子どもの貧困対策

2015年12月12日にシンポジウムを実施し、鎌倉市の担当部署、市長、市議会議員に出席をしてもらった（子どもの学習支援事業の一環として実施。再掲）また、こうした活動を通じて鎌倉市担当部署と対話を重ねた。

◆就労準備支援事業

2016年3月25日に就労体験・就労訓練を活用した支援マニュアルの完成報告会を行った。案内は県内および東京都内の全自治体の生活困窮者支援担当部署に送付し、多くの自治体関係者の出席を得た。

(3)インターネット等を活用した情報発信

インクルージョンネットかながわのサイトに加え、Facebook ページ (<https://www.facebook.com/inclkanagawa/>) を開設し、日々の活動の様子を発信した。

また、2015年4月に鎌倉市の自立相談支援事業開始に合わせ、インクル相談室鎌倉

のサイト (<http://inclkamakura.net/>) を立ち上げ、インクルージョンネットかながわのサイトからリンクさせた。

(4)その他（講師、委員会委員等の派遣）

国や自治体、他の支援機関等からの要請に応じて、当法人の役員が、講師やパネリスト、委員として参加し、当法人の理念や経験を伝えたり、生活困窮者への支援のあり方について意見を述べた。

◆講師・パネリスト等

[2015年]

- ・5月28日 川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）主催「生活困窮者自立支援法と母子家庭支援」講演講師派遣
- ・6月26日 湘南工科大学 ボランティア論 講師派遣
- ・6月26日 第40回部落解放・人権西日本夏期講座「生活困窮者支援とは」講演講師派遣
- ・7月2日 民主党「共生社会創造本部」講演講師派遣
- ・7月21日 神奈川県 黒岩知事との“対話の広場”Live 神奈川「ともに支えあう社会づくりを目指して 第1弾：「生活困窮」の現状と課題」講演講師派遣
- ・8月6日 公益財団法人神奈川県鎌倉宅地建物取引行協会鎌倉支部 勉強会 講演講師派遣
- ・8月26日 福岡県男女共同参画センターあすばる「困難な立場にある女性支援セミナー 第2回」講演講師派遣
- ・9月12日 横浜弁護士会 第58回日弁連人権擁護大会プレシンポジウム「女性と労働～日本の貧困化をくいとめるために～」講演講師派遣
- ・9月27日 地域お茶の間研究所さろんどて 講演講師派遣
- ・11月9日 小田原市人権・男女共同参画講座 講演講師派遣
- ・11月12日 独立行政法人医療福祉機構 平成27年度社会福祉振興助成事業シンポジウム「地域での連携による生活困窮者支援の新たな方向性」～地域で創造するこれからの生活困窮者支援～」パネリスト派遣
- ・11月27日 子ども・若者居場所研究会 「『子どもたちの貧困』に対して今、何が出来るのかを話し合う集い」講師派遣
- ・12月18日 湘南工科大学 ボランティア論 講師派遣

[2016年]

- ・2月3日 滋賀県野洲市「女性と子どもの貧困を考える」講演講師派遣
- ・2月6日 非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査報告会 講師派遣
- ・2月11日 ワーカーズコープ東京北部事業本部子ども・若者フォーラム2016

「『見えていないことを、見ようとする』～子どもの貧困を地域の実践から学ぶ～」講演講師派遣

・2月20日 横浜市国際交流財団 地域支援講座 講演講師派遣

◆委員会

・みずほ情報総研株式会社「生活困窮者自立支援制度の自立相談支援機関における帳票類の標準化等に関する調査研究」委員派遣

・株式会社日本総合研究所「生活困窮者支援事例の活用促進のための調査研究事業」委員派遣

・財団法人横浜市男女共同参画推進協会 非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査 検討委員派遣

・公益財団法人連合総合研究所「就職氷河期世代に関する調査研究」検討委員派遣

◆マスコミ

・タウンニュース 2015年12月11日 人物風土記 代表理事鈴木晶子の紹介

・毎日新聞地方版 2016年3月3日「子ども食堂情報届かず」（子どもの貧困に関する記事）代表理事鈴木晶子のコメント

・神奈川新聞 2016年3月28日 学習支援事業 space ぷらっとの紹介

4 前各号に関わる人材育成事業

(1)研修会の実施

◆「子ども若者の貧困を考えるシンポジウム in 鎌倉」（再掲）

2015年12月12日に、鎌倉・逗子地域での子どもの貧困に関する啓発のためシンポジウムを行った(再掲)

[内容]

・子どもの貧困に関する基調講演

・「Space ぷらっと」実践報告

・地元大学の有識者をコーディネーターにした、地域の実践者によるパネルディスカッション

[参加者数] 189名（市内78名、市外111名）

支援に携わる支援職や行政職員をはじめ、子どもの貧困に関心のある市民、鎌倉市長、神奈川県議会議員、鎌倉市・逗子市その他周辺自治体の市議会議員などが数多く参加した。

◆中間的就労に携わる支援者の効果的な支援技術に関する調査研究成果報告会

2016年3月25日に、生活困窮者自立支援に関わる支援者、行政関係者を招いて、報告会を実施した。

[内容]

- ・第1部 基調講演「生活困窮者支援制度における就労支援：就労準備支援事業と就労訓練事業」 渡邊由美子（厚生労働省社会援護局生活困窮者自立支援室 課長補佐）
- ・第2部 ささえる手の増やし方、はたらく気持ちの動かし方
 - (1)支援者は何を大切にしていくか
明石紀久男（一般社団法人インクルージョンネットかながわ 理事/NPO法人遊悠楽舎代表）
 - (2)具体的な支援の進め方
鈴木晶子（一般社団法人インクルージョンネットかながわ 代表理事）
園田明日香（藤沢市生活困窮者就労準備支援事業 相談員）

(2)各種研修・講演会への講師の派遣

[2015年]

- ・7月22日 地域包括支援センター聖テレジア 学習会 講師派遣
- ・7月24日 厚木商業高校 教職員人権研修
- ・7月27日 沖縄県教育委員会 研修会 講師派遣
- ・7月28日 全国社会福祉協議会 生活困窮者就労準備支援事業国研修 講師派遣
- ・7月29日 神奈川県中教育事務所 人権指導者研修 講師派遣
- ・8月5日 鎌倉市民生児童委員研修会 講師派遣
- ・8月20日 横浜市教育委員会 人権研修 講師派遣
- ・8月22日 伴走型支援士2級講座 ホームレス論 講師派遣
- ・8月29日 生活クラブ生協・神奈川 電話オペレーター研修 講師派遣
- ・10月7～9日 全国社会福祉協議会 生活困窮者自立相談支援員国研修 講師派遣
- ・10月10日 みずほ情報総研 帳票類を活用した自立相談支援研修千葉開催 講師派遣
- ・10月21日 生活クラブ共済連研修 講師派遣
- ・10月24日 みずほ情報総研 帳票類を活用した自立相談支援研修仙台開催 講師派遣
- ・10月27日 法務省矯正研修所 地域支援業務講義 講師派遣
- ・11月4日 厚生労働省社会援護局 室内勉強会 講師派遣
- ・11月8日 第2回生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会5子ども若者支援 講師派遣
- ・11月25日 神奈川県生活保護事務研究協議会 研修講師派遣

- ・ 11月25日 伴走型支援士1級講座 講師派遣
- ・ 12月12日 神奈川人権センター シンポジウム 講演講師派遣
- ・ 12月17日 横浜市都市整備局 職員人権研修 講師派遣
- ・ 法政大学人間環境学部 NPO・ボランティア論 講師派遣
- ・ 関東学院大学経済学部 NPOマネジメント論 講師派遣

[2016年]

- ・ 1月6～7日 沖縄県生活困窮者自立支援制度従事者人材育成研修 講師派遣
- ・ 1月12日 神奈川アフターケア勉強会 講師派遣
- ・ 1月16日 特定非営利活動法人フードバンクいわて 支援員スキルアップ研修 生活困窮者支援「今年の実情と就労準備支援の活動紹介」講師派遣
- ・ 1月19日 東京都民生児童委員研修 講師派遣
- ・ 2月6日 伴走型支援士2級講座 ホームレス論 講師派遣
- ・ 2月12日 神奈川県立高等学校養護部会鎌倉湘南地域 講師派遣

5 職業紹介事業

(1)インクル無料職業紹介所

生活困窮者自立支援事業受託に必要な「無料職業紹介事業」事業所資格を2016年3月に取得した。

6 前各号に附帯する一切の事業

(1)社員総会の開催

◆通常総会

2015年6月6日(土) 14:00～15:30 かながわ県民活動サポートセンター

◆臨時総会

2015年12月12日(土) 11:00～11:30 当法人事務所

(2)理事会の開催

◆第1回理事会

2015年5月25日(月) 10:00～12:00 当法人事務所

◆臨時理事会

2015年6月6日(土) 15:40～16:00 かながわ県民活動サポートセンター

(3)運営会議の開催

理事のうちコーディネーター、相談員を兼務する者を中心として、月1回程度、運営会議を開催し、日常的な業務の確認や、利用者への支援のあり方の検討等を行った。

◆運営会議開催経過

2015年4月13日(月) 15:00~17:00

2015年5月8日(金) : 10:00~ : 12:00

2015年6月19日(土) 10:00~12:00

2015年7月21日(水) 10:00~12:00

2015年9月2日(水) 10:00~12:00

2015年10月13日(火) 10:00~12:00

2015年12月24日(木) 10:00~12:00

2016年1月22日(金) 15:00~17:00

2016年3月1日(火) 10:30~12:00